

公共施設マネジメント 【進捗報告】

2025年5月

財政・変革局 市政変革推進室

1 これからの公共施設マネジメント

これからの公共施設マネジメントの方向性

**施設の価値を最大限発揮させ
新たな価値を創出**



利用者目線で施設毎にあり方を検討

マネジメントの推進にあたり着目すべき3つの要素

ソフト
(機能・サービス)

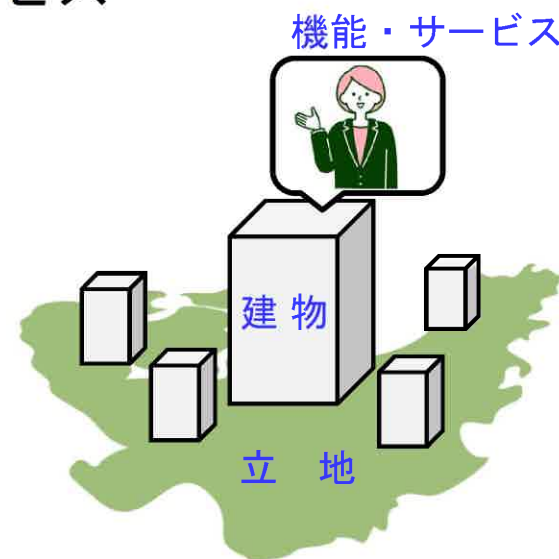
公共施設が提供する機能やサービス
➤ 運営の効率性、利用者ニーズ

ハード
(建物)

公共施設のスペック
➤ 施設の規模、設備仕様、老朽度合

立地

公共施設が立地する場所
➤ 施設の分布、周辺施設の状況



2 取組みスケジュール



3 将来に向けた施設の方向性の整理

対象施設

691施設（※市営住宅や学校施設など全体であり方を検討するものを除く）

➤スポーツ施設、文化施設、子育て支援施設、図書館、市民活動拠点施設、保健福祉施設、観光施設 など

施設点検を踏まえた現段階での整理

利用者数やコストなど各施設の諸元を踏まえ、新たな価値の創出に向けて施設の方向性を整理

施設の問題の検証

施設の**利便性・魅力・質の向上**

（施設の問題）

- ・ 利用者が減少傾向
- ・ 将来、大規模改修が必要
- ・ 運営費が年々増加

など

民間のノウハウを活用した
整備・運営（公民連携）

建 替 え

公民連携の例

・PPP

他施設（公・民）との複合化

・商業施設への入居

運営改善

・複数施設の一体管理

民間譲渡

・民間のエリア開発
・地域への移管

など

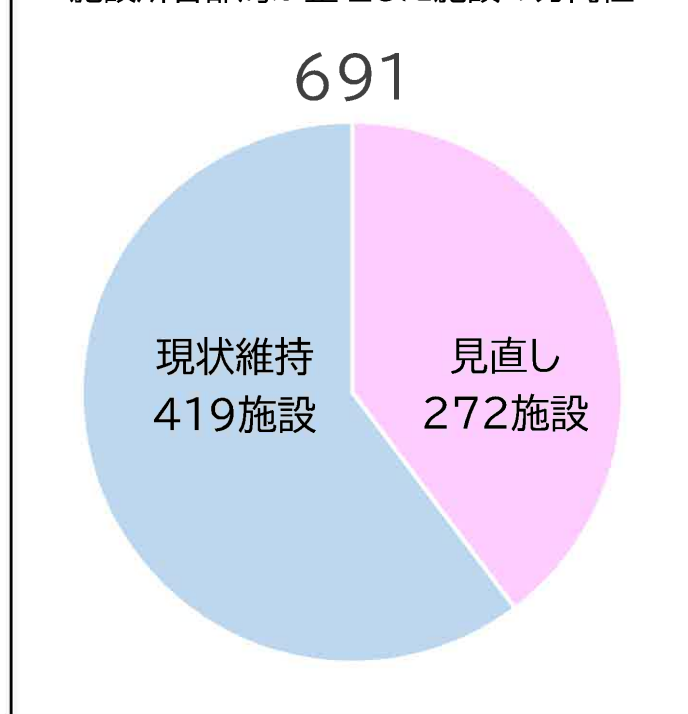
このうち役割を終えた施設は廃止 / 跡地売却 等

新たな価値の創出

4 今後の検討の進め方

現段階での回答状況 (R7.3時点)

施設所管部局が整理した施設の方向性



「現状維持」とした施設の中に
見直しをして最適化できるものがあるのではないか

最適化に向けたさらなる検討が必要

利用者にとっての付加価値を高める方策として、

- ・利用者ニーズに合ったサービスを提供するため、民間の資源やノウハウを活用できるのでは
- ・利用者の利便性や魅力向上のため、民間施設も含めた、施設の集約の可能性はないか など

新たな視点を踏まえた、将来の方向性の再整理が必要

改めて各施設の課題の洗い出しを行い
最適な方向性の再検討を行う

<今年度の検討の進め方>

市政変革推進室

課題が洗い出された施設について

仮説の提示

(仮説)

- ・他施設との集約化・複合化
- ・利用対象者拡大
- ・民営化、民間譲渡 などの可能性

施設所管部局

最適案の検討